



★事務所：神奈川県平塚市豊原町22-13 TEL/FAX：0463-36-2255
 ★例会：第1・第3・第5 木曜日 12:30～13:30 大磯プリンスホテル TEL：0463-61-1111 FAX：0463-61-6281
 会長 田中 敏治 会長エレクト 田中 敏治 幹事 吉川 稔

第2619回 例会 令和7年4月17日 No.22
 ■司会:布川 史明 ■点鐘:田中 敏治 ■合唱:手に手つないで

◇プログラム・4月20日：地区ランニング協議会・5月8日：休会・5月15日：通常例会・ゲストスピーカー

◇出席報告	例会	会員数	出席数	出席率	メークアップ	修正出席率	◇欠席者(2名)
	2619回	15(12)	8	66.67%	—	—	吉川晃弘会員、三鈴会員
	2517回	15(12)	6	50.00%	1	58.33%	◇メークアップ(1名) 吉川晃弘会員



合唱：手に手つないで

◇会長報告 田中敏治会長



皆さん、こんにちは。
 本日も例会に参加いただき有難うございます。いつも元気で楽しく例会を進めたいと思いますので宜しくお願いいたします。ここ最近アメリカのトランプ大統領が関税率引き上げなどで世界中を困惑させています。私の仕事は原料の現物を扱う業種なので世界の経済変化に非常に敏感に反応しており非常に相場等が下落し大変な状況です。ただ実態経済として反映されてくるのは半年後ぐらいになるのかなと思っていますので先行きが非常に不透明で心配しております。
 それでは報告に移ります。先日、三荒AG予定者と平塚RCのメンバーの方々と次年度IMについて打ち合わせをいたしました。内容としましては「つなげる」をテーマに各クラブ間の交流をして親睦をはかりたいと考えているようで希望者を対象に午前中は大磯町内の色々な史跡を回り午後からIM会議に入ります。
 大磯クラブの実行委員会は布川さんを実行委員長に越地さん、岡さんを中心に今後進めていきたいとおもいますのでメンバーの方々はご協力を宜しくお願い

いたします。もう一つ、先日地区補助金のプレゼンに新宅さんと岡さん、吉川さんでプレゼンをしてきていただきました。内容としましては大磯ビーチプロジェクトです。障害を抱えている方々に海水浴を体験して頂き共生をしていく企画になります。連休前には結果が出ると思います。ご協力をお願いします。会長幹事会の報告はありませんが、次年度に向かってプログラムをしっかりと立てて次年度は進めていきますので各委員長の方がメンバーの方々ご相談しますのでお願いいたします。

◇幹事報告

吉川稔幹事



- ・【ご案内】次年度向け会員増強セミナーのご案内
- ・「2025年 規定審議会報告会」開催のご案内
- ・地区ローターアクト委員会（5月18日）
- ・ハイライトよねやま 301

※配布物：ガバナー月信 4月号

5月行事予定表

◇委員会報告：

☆スマイルボックス

瀬戸亨一委員



・田中敏治会長：みなさん、こんにちは。本日も出席ありがとうございます。先日は布川さん越地さん岡さんIMの打ち合わせありがとうございました。本日も宜しくお願い致します。

・新宅文雄会員：岡さん卓話よろしく！新宅は本日早退します。

・越地貞裕会員：岡さん卓話楽しみにしています。

よろしくお願いします。

・岡みゆき会員：吉川さん真間さん歓迎会を迎えられた事とても嬉しく思っています。共に盛り上げ楽しくまいりましょう。地区補助金の申請でみなさまにご承認くださった、ユニバーサルDAYプロジェクト、大磯ロータリークラブで成功に導けるようご協力をお願いします。

・布川史明会員：岡さん、卓話楽しみにしています。よろしくお願いいたします。

・瀬戸亨一会員：本日は良いお天気で、先週は小中学校の入学式に参加して来ました。桜の花も沢山残っていて子供の笑顔もいっぱいでした。今日はすっかり緑の葉っぱに変わってしまいました。また、暑くて仕事がつらい夏がやって来ます。

☆青少年奉仕委員会

瀬戸亨一委員

先日、廣川康希君と電話で話しました。

日常会話はデンマーク語で出来るようになってきたそうです。

高校は3年生として復帰できるように学校と話が出来ていてクラスも決まっていると聞きました。

将来ですが国際的なことが学べるような大学を探したいとの事で、

デンマークに行って約8か月を経過しましたが、随分大人の考えになったなーと感じました。

帰国日は6月28日です。13:30に羽田に到着予定ですので、お迎えに行かれる方は是非お願い致します。ダヴィッド君

スウェーデンのANA日本語コンテストで優勝し往復航空チケットを手に入れました。7月末に日本に来るそうで、大磯にも来るとの事です。

その後は関西方面に行きたいと言っています。

京都にも大阪万博にも行きたいそうです。

大学は日本の大学に入りたいとの事です、どこに行きたいのかと聞きましたら京大だと言っていました。日本らしさを象徴している印象がある京都に住みたいのではないかと思います。

☆出席報告

藤田真喜子委員



◇卓話

◆◆大磯ロータリークラブ

ユニバーサルビーチDAYプロジェクト◆◆

岡みゆき会員



地区補助金を申請中の「大磯ロータリークラブ ユニバーサルビーチDAYプロジェクト」について、改めてご説明させていただきます。

地区補助金が無事に採択されるよう、先日はガバナー事務局の皆さまの前で、5分間で思いが伝わるプレゼンテーションを行ってまいりました。

大磯町は、日本で最初に海水浴場が開設された場所です。その歴史ある地で、障がいの有無にかかわらず、「できなかったことを、できた！」に変える海水浴体験を実現するのが、このプロジェクトの目的です。

私たちが掲げる目的（PURPOSE）は、次の3つです。

1. バリアフリー整備と共生社会の実現

障がいのある方、ベビーカーを利用するご家族、車いすの利用者が、誰もが当たり前歩けるビーチの整備が必要です。そのために、砂浜に専用のマットを敷設し、移動が困難な方でも安心してビーチを楽しむ環境を整備します。

2. 地域振興への貢献

イベント開催時には、町内外から多くの方々に大磯のビーチを訪れていただくことで、地域の活性化につなげたいと考えています。

3. 健康増進とスポーツイベントとしての意義

スポーツを通じて年齢や障がいの有無を問わず、健やかで健康的な暮らしを応援します。私たちロータリアンは、地域への奉仕活動としてこのプロジェクトを推進してまいります。

なお、去年は台風の影響により、残念ながらイベントを中止せざるを得ませんでした。今年はその経験を踏まえ、8月3日を開催日、8月17日を予備日とし

て、天候不良への備えも万全にしております。

「インクルーシブでバリアフリーなビーチ」とは、すべての人が平等に楽しめる海水浴場です。たとえば、水陸両用の車いすを使用すれば、そのまま海に入ることが可能です。身体に障がいがある方でも、介助者とともに海水浴を楽しむことができます。また、海岸周辺の環境も整っており、駐車場からビーチまでのアクセスもバリアフリー対応済みです。さらに、近隣には5か所の障がい者対応トイレや、水・温水のシャワー設備も完備されています。緊急時の避難経路についても、事前に確認を済ませております。

このプロジェクトの真の価値は、ただの「海水浴イベント」ではありません。参加者一人ひとりが「できなかったことを、できた！」という体験を通じて、喜びを分かち合い、共に生きる社会を実感することにあります。

私たちはこの取り組みを単発のイベントにとどめず、未来へとつなぐ継続的な活動として発展させてまいります。

【ステップ】

・1stステップ：「声を聞くこと」から始まる、「できた！」に変える行動

・2ndステップ：ユニバーサルビーチの体験を通じた気づきと学び

・3rdステップ：共生社会への第一歩

広報については、メディアやSNSを活用した情報発信を強化してまいります。また、安全面の徹底した管理と、行政・医療・ボランティア団体など関係各所との連携も重視しています。

私たちの行動が、地域とのつながりを強め、尊重と協力の輪を広げていきます。そしてその先に、多様な価値観を受け入れる「共生社会」が形づくられていくと信じています。

このプロジェクトが成功することで、ロータリークラブの存在意義と地域への貢献がより深まり、結果的に会員増強にもつながることでしょう。

皆さまと共に、楽しく汗を流しながら、意義ある活動を実現してまいりましょう！